

## 仙台市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況について

まちづくり政策局

### 1. 概要

本市では、国が策定した「まち・ひと・しごと創生総合戦略」（平成 26 年 12 月 27 日閣議決定）などを踏まえ、平成 28 年 3 月に「仙台市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定した。

「仙台市まち・ひと・しごと創生総合戦略」は、本市の将来人口推計を含む人口ビジョンと基本目標を掲げる総合戦略で構成され、人口ビジョンでは、2020 年頃には本市の人口がピークを迎え、人口減少局面に移行するとの見通しを示し、また、総合戦略においては、「起業・創業」「交流人口の拡大」「若者の定住・移住」「若い世代の結婚、出産、子育ての希望実現」「安心して快適に暮らせるまちづくり」の 5 つを基本目標として掲げ、目標達成に向けた基本的な方向や主な施策などを定めている。

これらの基本目標や主な施策については、それぞれ数値目標や KPI（重要業績評価指標）を設定しており、毎年、これらの客観的な指標により進捗状況等を評価し、効果を検証するとともに仙台市経営戦略会議に報告し、公表することとしている。

### 2. 総合戦略の計画期間：平成 27 年度から平成 31 年度まで

### 3. 平成 27 年度末時点での進捗状況

#### (1) 5 つの基本目標と対応する数値目標の状況

基本目標	数値目標			平成27年度末時点の状況
	指標	基準値	目標値	
① 地域経済の中心である中小企業を活性化し、起業・創業を促します。	累計新規雇用者数	—	100,000人 H25(2013)年からH29(2017)年まで	<b>累計23,629人</b> (H25(2013)～H26(2014)年)
	新規開業率順位	平成26(2014)年 指定都市中第2位	平成29(2017)年までに指定都市中第1位	<b>指定都市中第2位</b>
	認定農業者数	平成27(2015)年度 268経営体(見込み)	平成31(2019)年度までに315経営体	<b>286経営体</b>
② 仙台の魅力を創造・発信し、国内・世界との交流人口を拡大します。	観光客入込数	平成27(2015)年 2,100万人(見込み)	平成29(2017)年までに2,300万人	<b>2,229万人</b>
③ 仙台で学んだ若者が住み続け、東京圏からも人々が移り住む、新たな人の流れをつくります。	20代後半の転出超過率	平成26(2014)年 1.8‰	平成31年(2019)年にゼロ	<b>2.8‰</b>
	学生の地元就職率	平成26(2014)年度 約4割	平成31年(2019)年度までに1割向上	<b>48.2%</b>
④ 子育てしやすい環境を高め、若い世代の結婚、出産、子育ての希望の実現に取り組めます。	待機児童解消を目指した保育総量	平成27(2015)年当初 約18,000人	平成29(2017)年度当初に 約21,000人	<b>18,930人</b>
	安心して子育てができる社会づくりを評価する市民の割合	直近2か年度平均 27.6%	平成31(2019)年度に28%	<b>27.9%</b>
⑤ 地域特性に合わせて、若者から高齢者まで安心して快適に暮らせるまちづくりを進めます。	仙台市が住みやすいと思う市民の割合	平成27(2015)年度89.3%	平成31(2019)年度に90%	—
	仙台市に住み続けたいと考える市民の割合	平成27(2015)年度87.3%	平成31(2019)年度に90%	—

※⑤「—」については基準値と同じ

(2) 国の交付金を活用した事業の達成状況

本市の総合戦略における事業のうち、地方創生に関する国の交付金（地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金（地方創生先行型））を活用して実施した事業及び平成 27 年度末時点の達成状況は次の表のとおりである。

基本目標	事業名	本事業における重要業績評価指標(KPI)			
		指標	目標値	実績値	
① 地域経済の中心である中小企業を活性化し、起業・創業を促します。	1 起業家交流促進事業	① アシスタ支援による開業件数	60 件/年	82 件/年	
	2 戦略的販路開拓支援事業	① 首都圏バイヤー等との成約件数	30 件/年	6 件/年	
	3 地域企業ブランディング支援事業	① プロジェクト支援	10 件	11 件	
		② 相談件数	100 件	131 件	
4 デザイン活用による高付加価値化支援	① デザイン活用ロールモデル創出	2 件	3 件		
	② デザイン活用セミナー	8 回	9 回		
	③ 相談会	4 回	7 回		
	④ クリエーター交流会	2 回	3 回		
② 仙台の魅力を創造・発信し、国内・世界との交流人口を拡大します。	5 観光客受入環境整備事業	① るーぷる仙台利用者数	30 % (増加)	23 % (増加)	
		② ボランティア育成人数	10 人	24 人	
		③ ツアールート作成	18 本/年	29 本/年	
	6 MICE開催支援事業	① 映像提供数	5 件/月	0 件/月	
		② アプリ提供数	2 件/月	3 件/月	
		③ 地域の免税店増加数	20 件	280 件	
		④ セミナー等への参加者数	50 人(延べ)	218 人(延べ)	
	7 国際会議等のMICEを活用した仙台・東北の復興状況の発信及び魅力PR並びにおもてなし等事業	① 事前プレスツアー等を通じた国内外メディアからの取材件数	20 件	51 件	
		② 外国人宿泊数	平成22年レベル(90,706人)に回復	115,947 人	
		③ 国際会議の開催件数	120 件	222 件	
③ 仙台で学んだ若者が住み続け、東京圏からも人々が移り住む、新たな人の流れをつくります。	8 競争選抜型若手起業家育成による若者定住促進事業	① 教育プログラムへの参加者数	100 人	202 人	
		② 地元企業とのネットワーキング	100 人	72 人	
		③ アイディアソンの実施回数	1 回	1 回	
		④ アプリコンテスト実施回数	1 回	1 回	

目標に満たない指標が一部あるものの、地方創生に対する一定の事業効果は認められ、引き続き、国の交付金を受けずに進める他の事業とともに、本市の総合戦略に掲げる基本目標の達成に向けた取り組みを実施していく。